

**2011～2013年度  
3カ年ローリングプラン**

**2011年10月28日  
富士電機株式会社**

- 経営手法の変革
- 10年ビジョン
- 3カ年ローリングプラン
  - 経営計画
  - セグメント別の重点施策
  - 研究開発
  - 設備投資
  - ものづくり力の強化

## 「長期的視点」と「市場変化への迅速対応」

### 10年ビジョン

長期的視点に立った  
事業戦略策定

### 3カ年ローリングプラン

市場動向、顧客ニーズを  
捉えた営業戦略策定  
《毎年 検証・見直し》

### 年次経営執行

月次ローリングフォーキャスト  
に基づく経営執行

# 10年ビジョン

※本資料における売上高・営業利益等の数値は目標値です。

## エネルギー・環境事業の拡大

エネルギー・環境事業を通じて、資源循環型社会の実現に貢献

## グローバル化

「日本の富士電機」から「世界の富士電機」へ

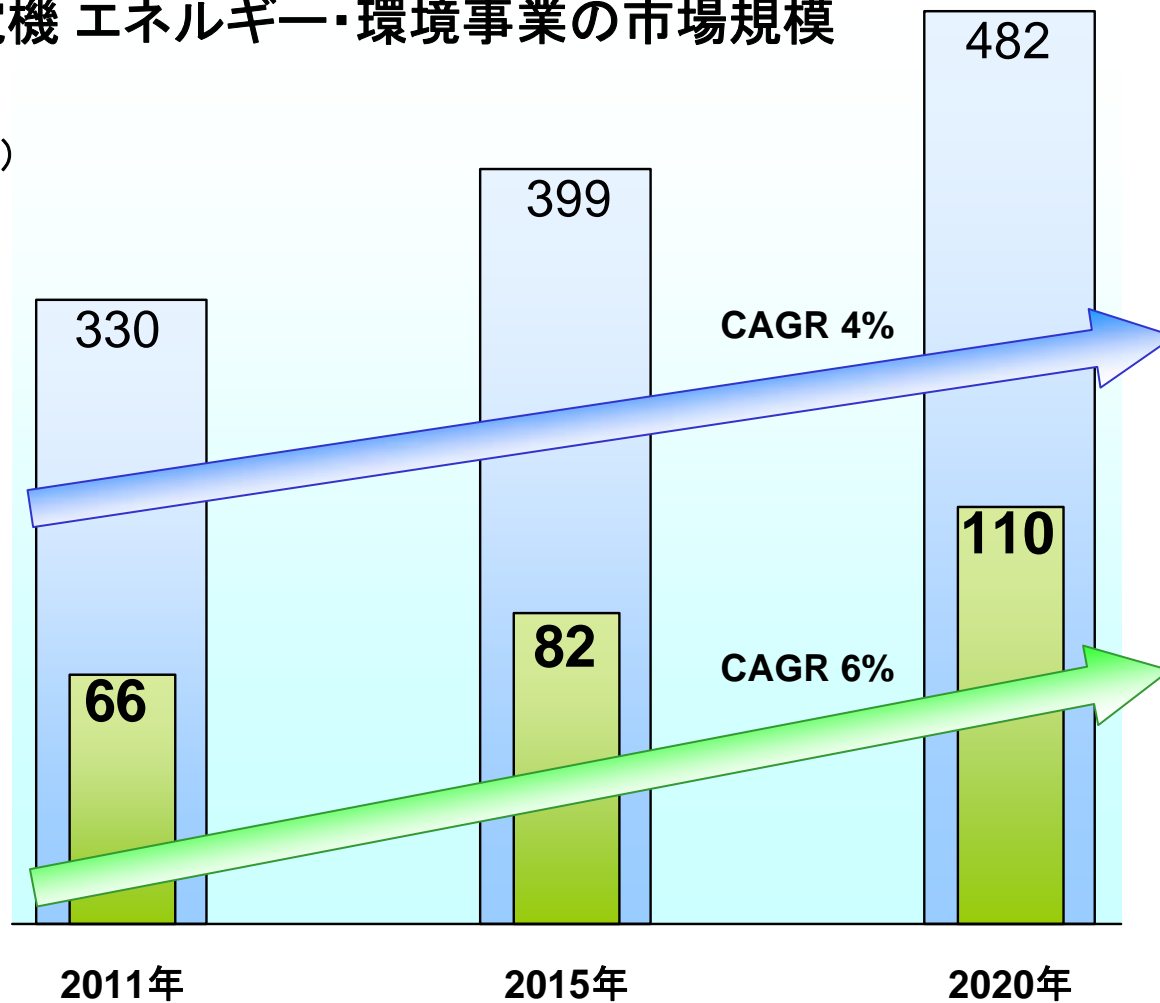


# エネルギー・環境市場規模

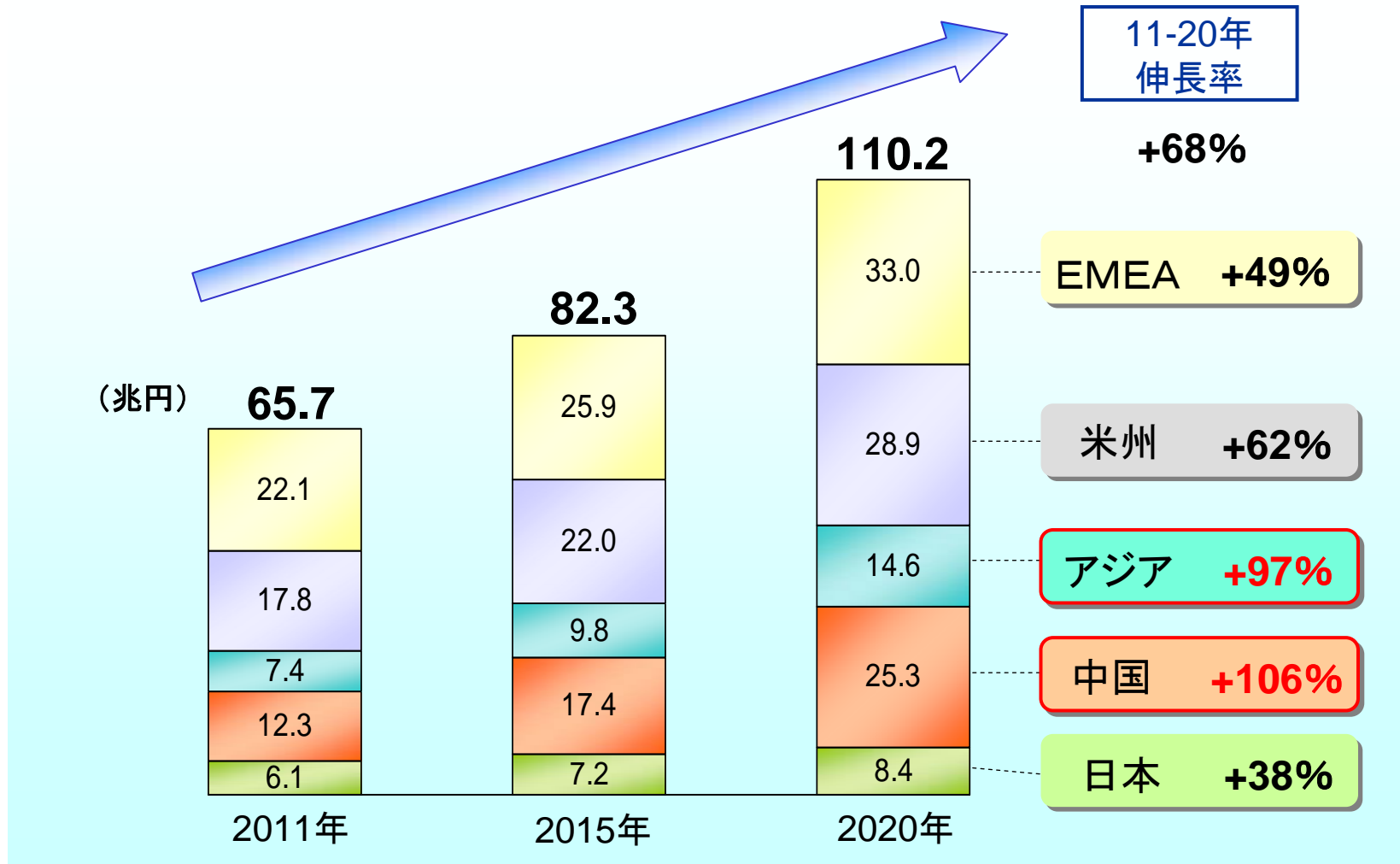
■ 全エネルギー・環境市場規模

■ 富士電機 エネルギー・環境事業の市場規模

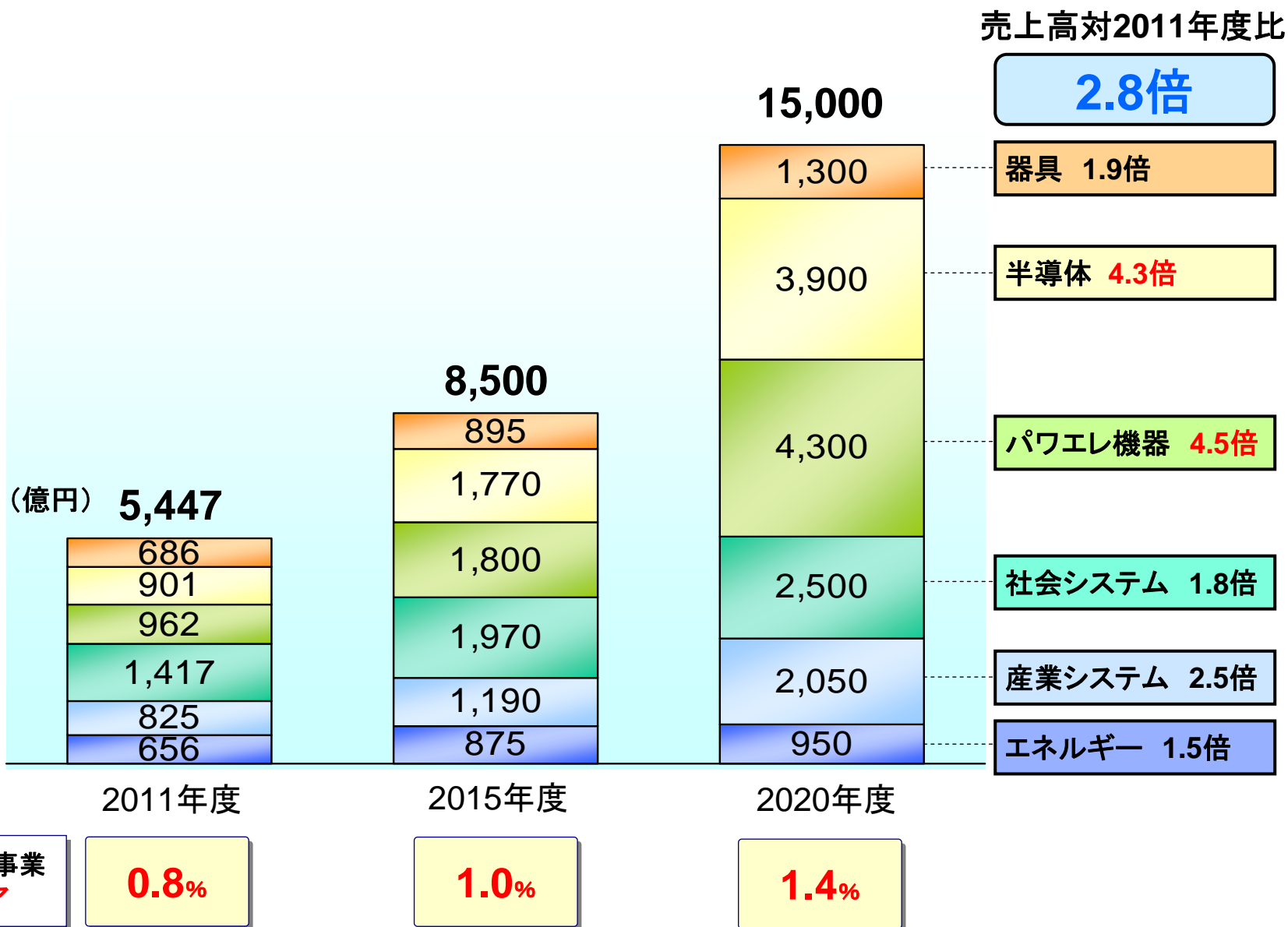
(兆円)



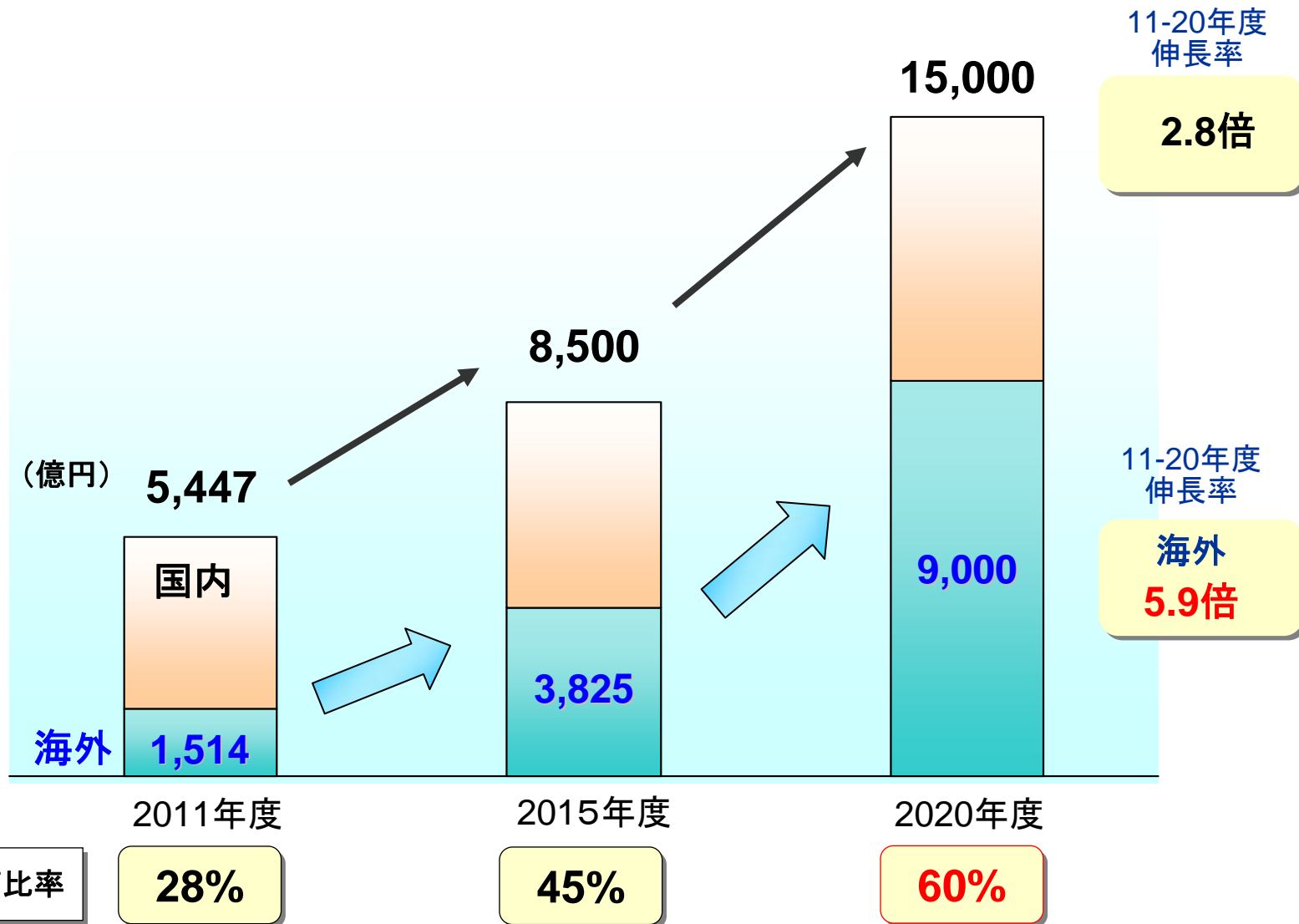
(※当社推定)



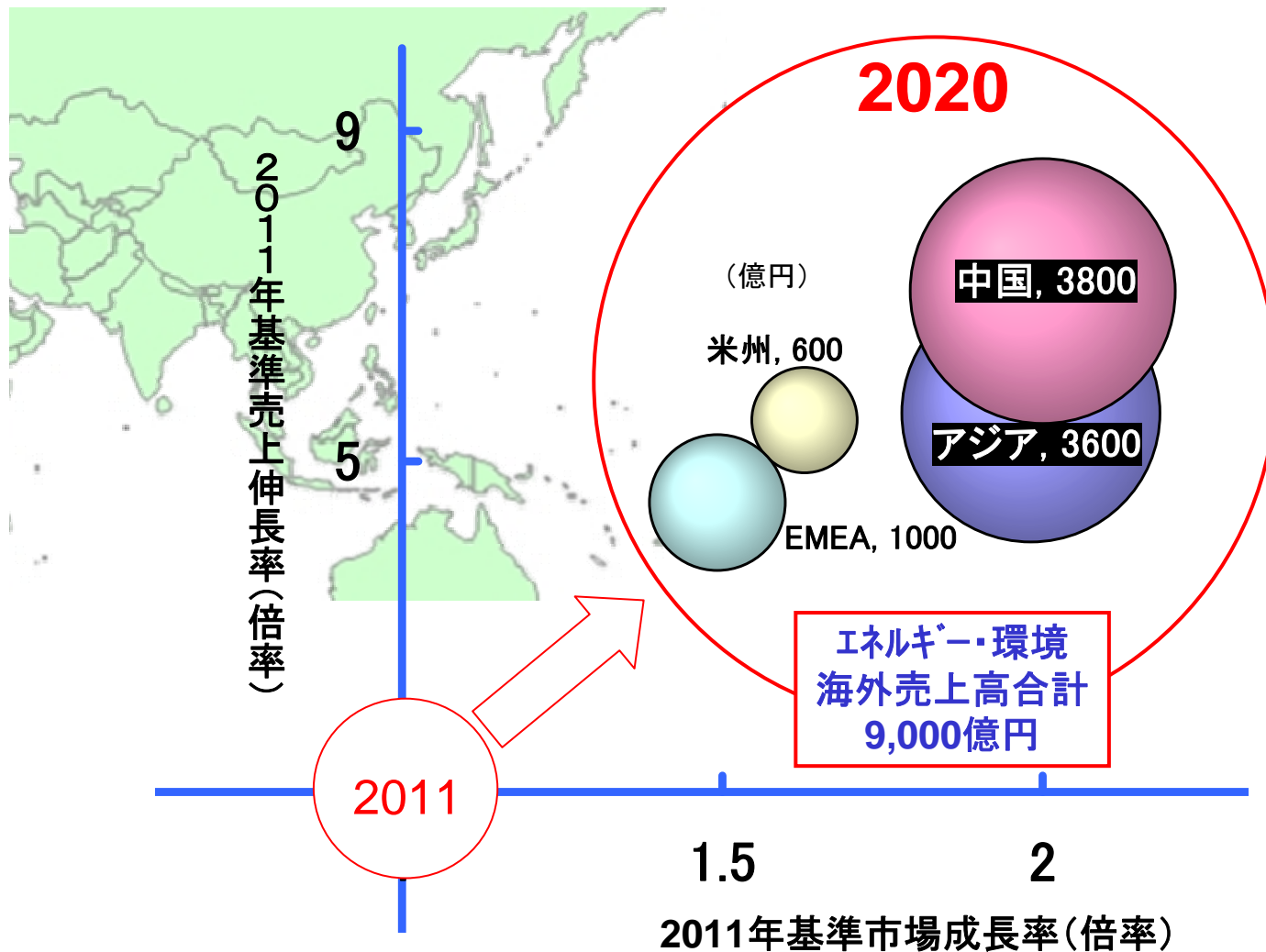
# エネルギー・環境事業売上高(セグメント別)



# エネルギー・環境事業売上高(海外比率)



# エネルギー・環境事業の海外売上高(地域別)





## エネルギー・環境コア技術・商材

### スマート制御

全体最適志向エンジニアリング  
(最適化, EMS, メータリング, 省エネ)

### 次世代パワーエレクトロニクス

(SiC、大容量、直流化対応)

## スマートコミュニティを支える 主な技術・商材

スマートグリッド

エネルギーマネジメント

スマートファクトリ・店舗

スマートメータ・センサ

高効率化火力・地熱発電

新エネ・省エネ電機設備

高効率産業ドライブ

EV車載機器・充電インフラ

高信頼度電源・電力変換機器

パワーデバイス(SiC, 大容量)

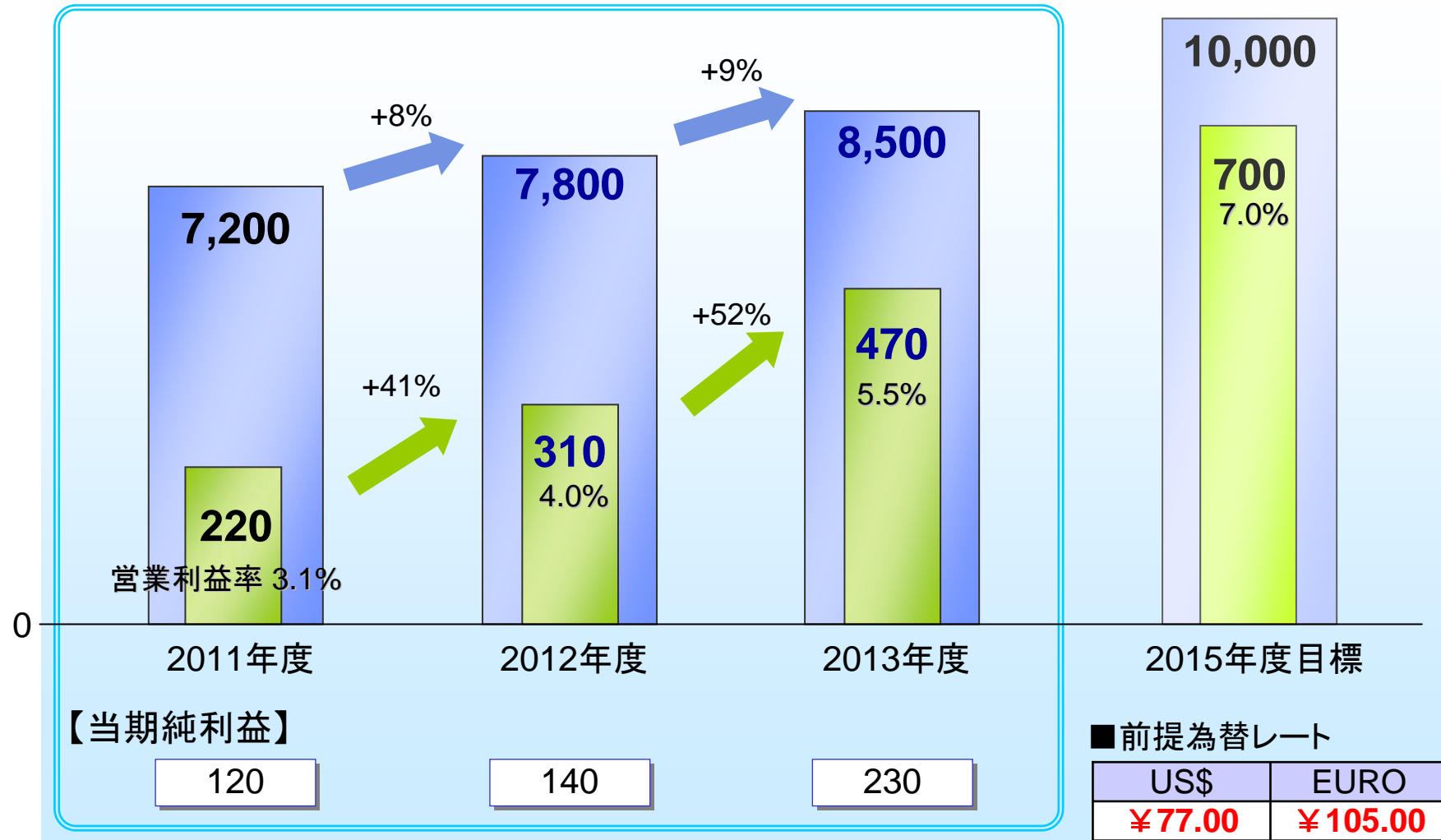
# 3カ年ローリングプラン

※本資料における売上高・営業利益等の数値は予想値または計画値です。

# 売上高・利益計画

(億円)

■ 売上高  
■ 営業利益

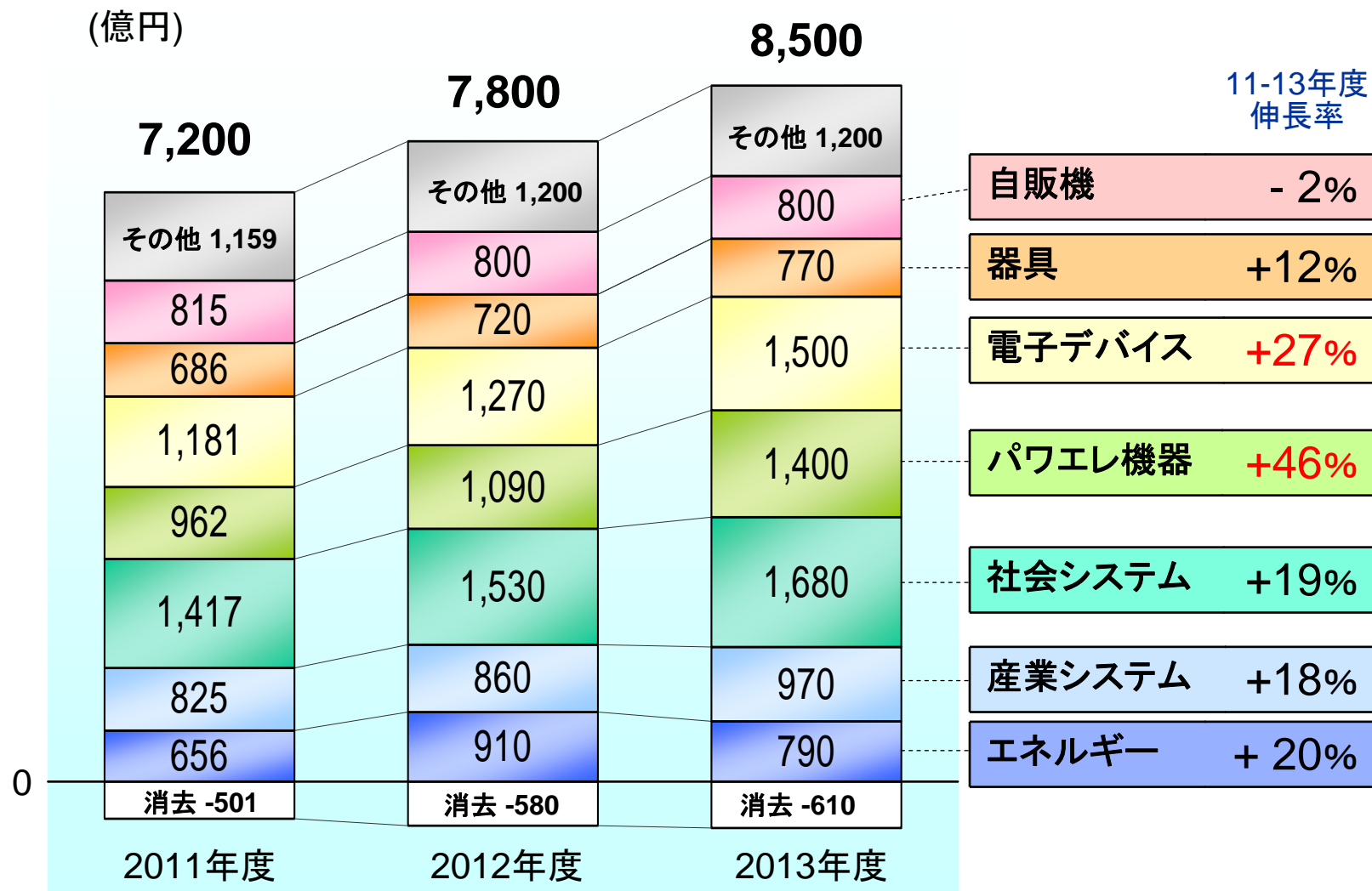


## 財務指標の目標値

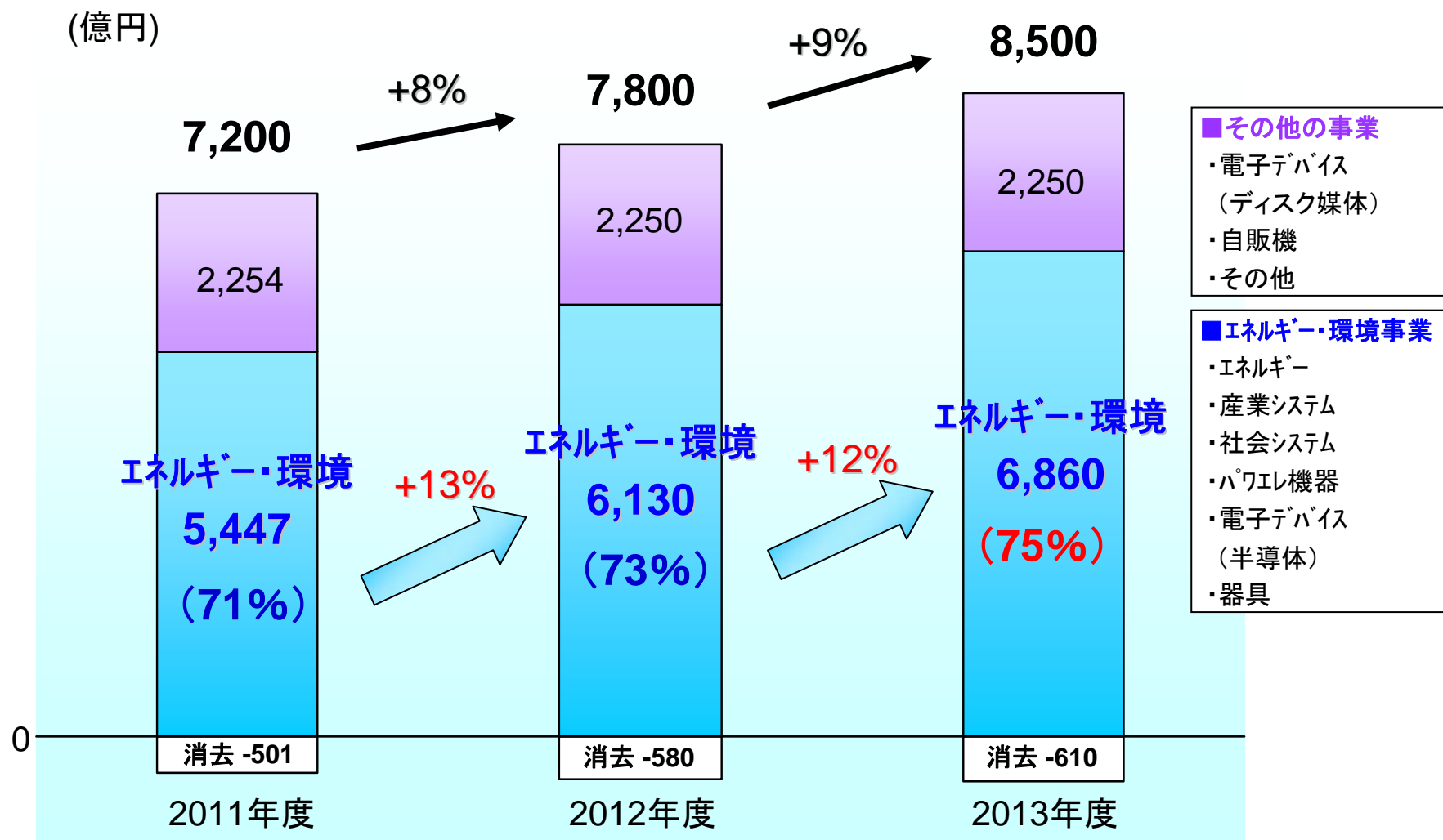
	2011年度	2012年度	2013年度	過去10年間の 最高値
ネットD/Eレシオ	1.2倍	1.1倍	1.0倍	0.9倍(2005年度)
自己資本比率	19.8%	21%	22%	27.8%(2005年度)
ROA	1.5%	1.8%	3%	2.3%(2006年度)

※ROA=「当期純利益÷総資産」

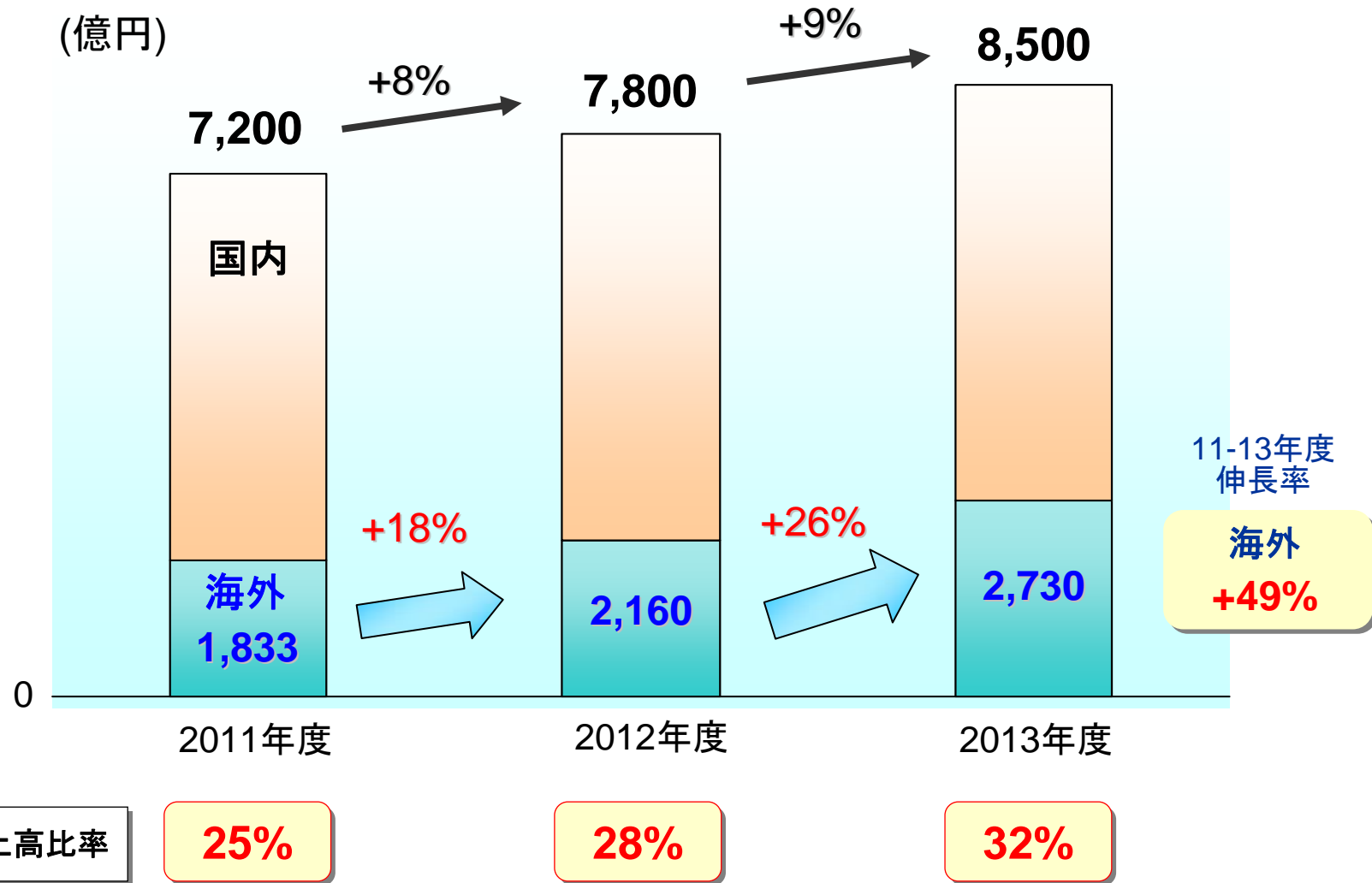
# 売上高(セグメント別)



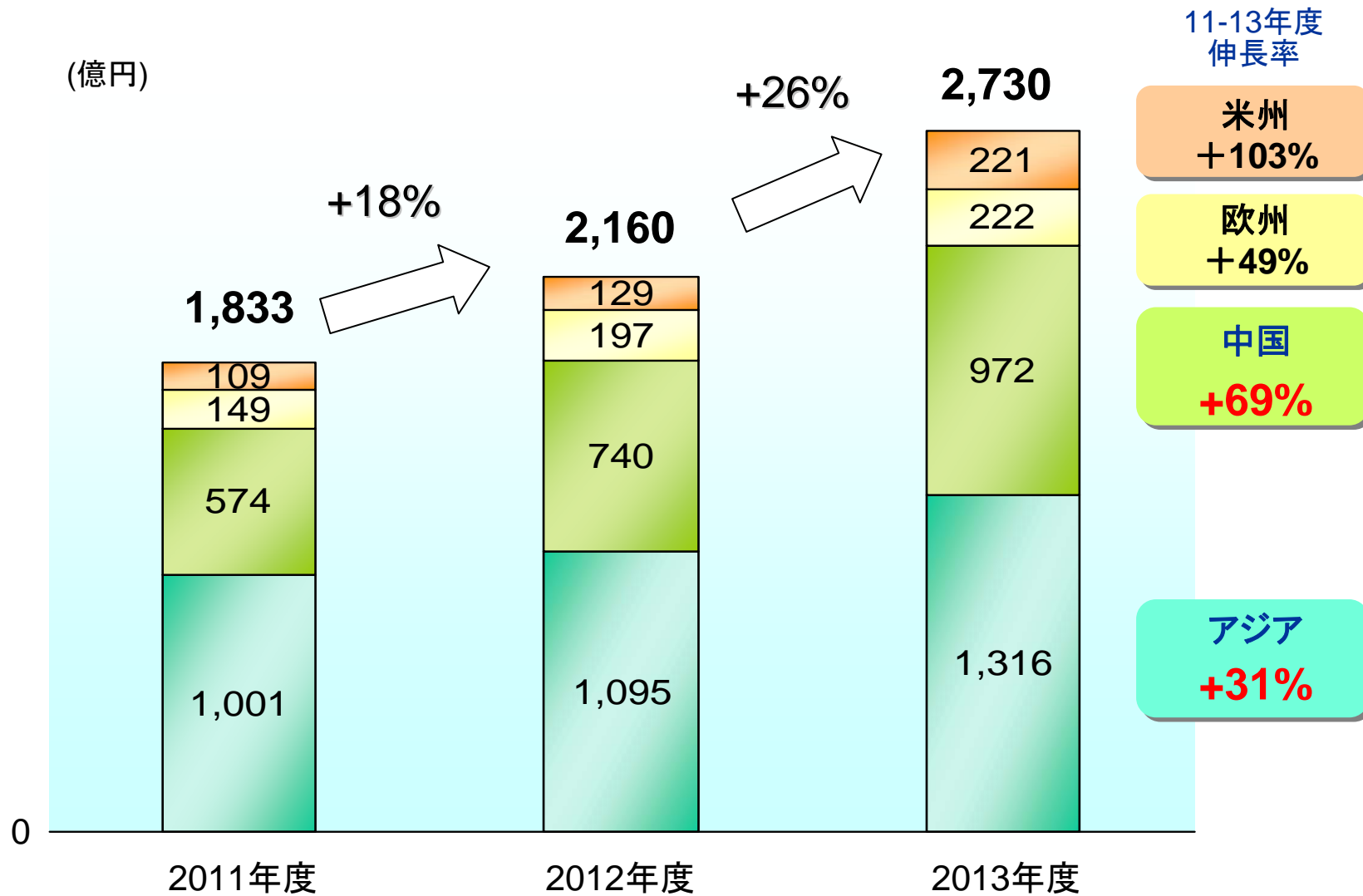
# 売上高(エネルギー・環境事業)



# 売上高(海外比率)

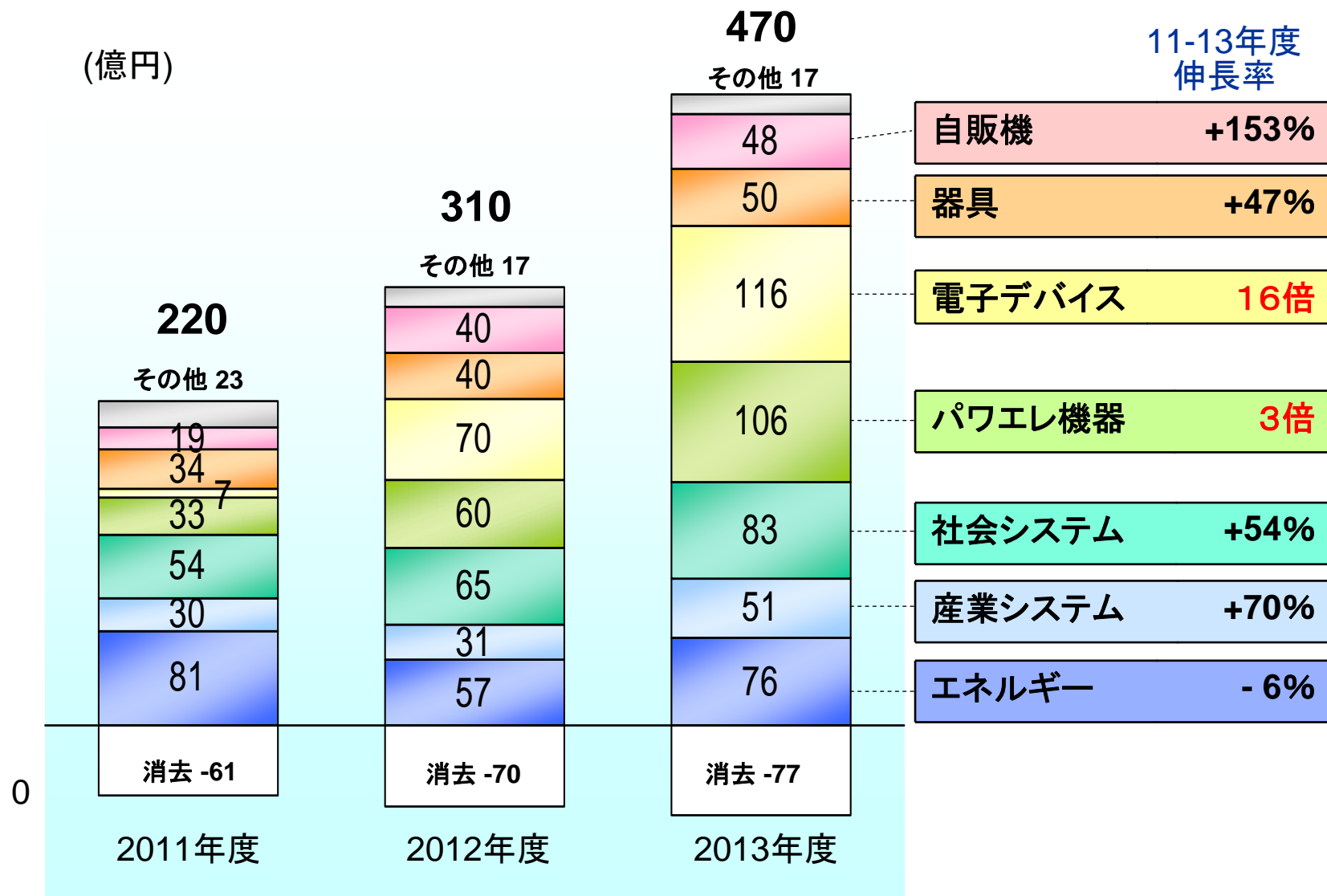


# 海外売上高(地域別)



※「アジア」はアジアパシフィックを含む。

# 営業利益(セグメント別)



# セグメント別の重点施策

※本資料における売上高・営業利益等の数値は予想値または計画値です。

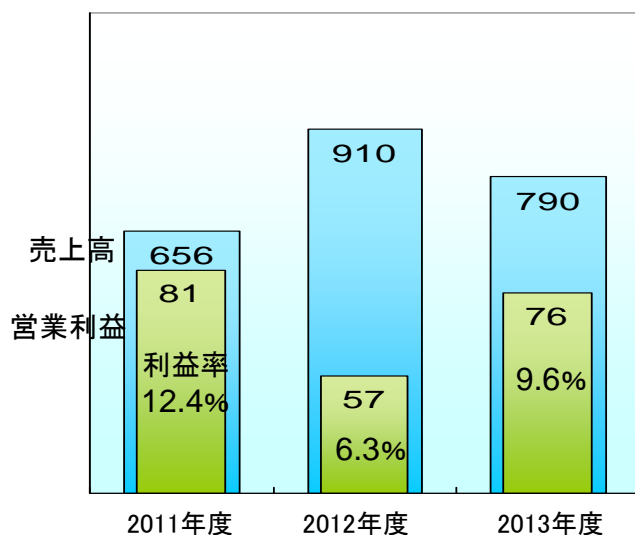
## ● 発電プラント

- ・技術革新により環境にやさしい高効率中容量火力発電の受注・売上を拡大
- ・バイナリーとのハイブリッド型で地熱発電の受注・売上を拡大

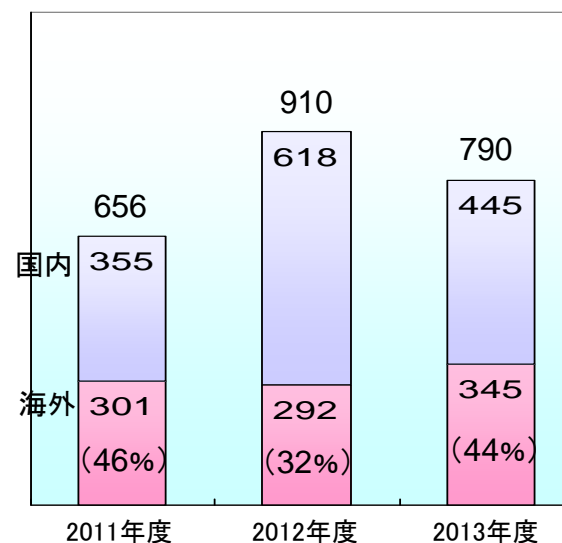
## ● 放射線

- ・放射線管理システムによる復興支援と海外向け新機種開発

売上高・営業利益 (億円)



国内・海外別売上高 (億円)



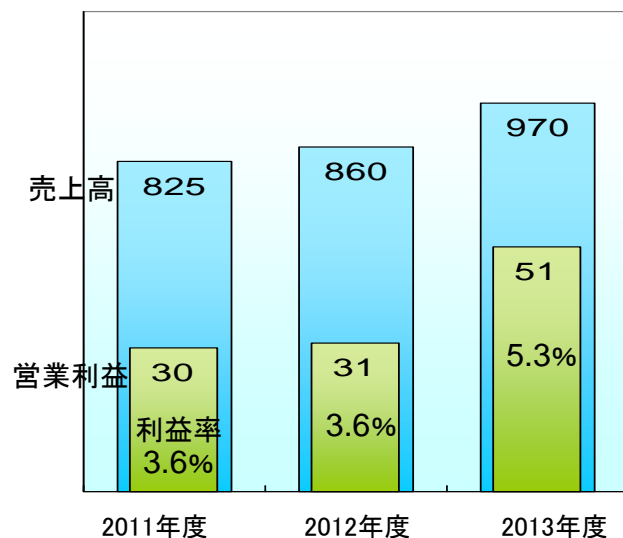
- 国内

設備更新需要の掘り起こしと収益体質強化

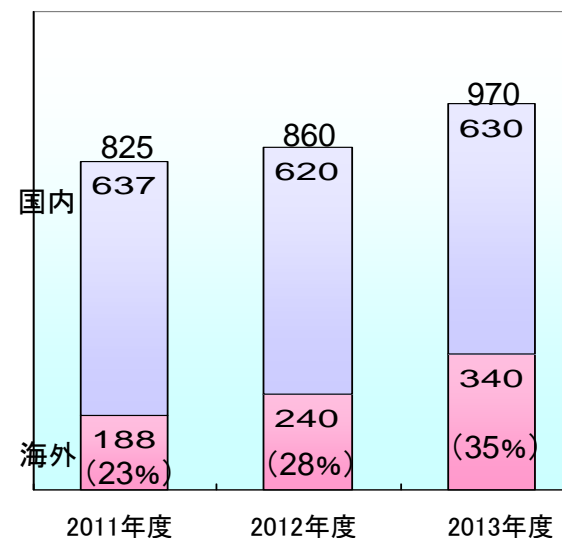
- 海外

アジア、中国における素材産業分野を中心とした事業拡大

売上高・営業利益(億円)

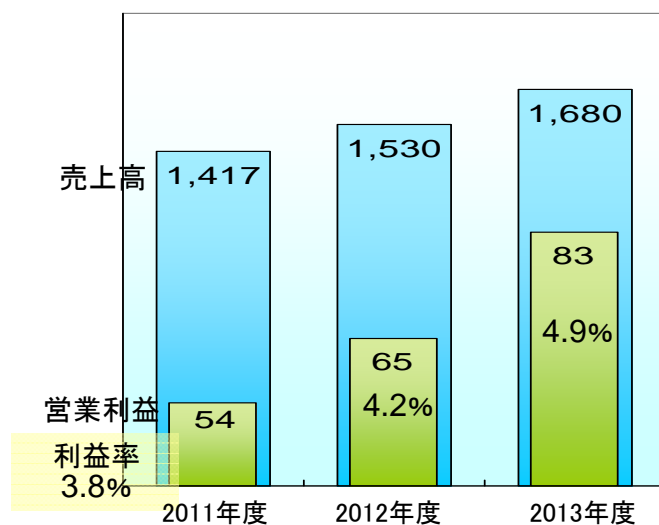


国内・海外別売上高(億円)

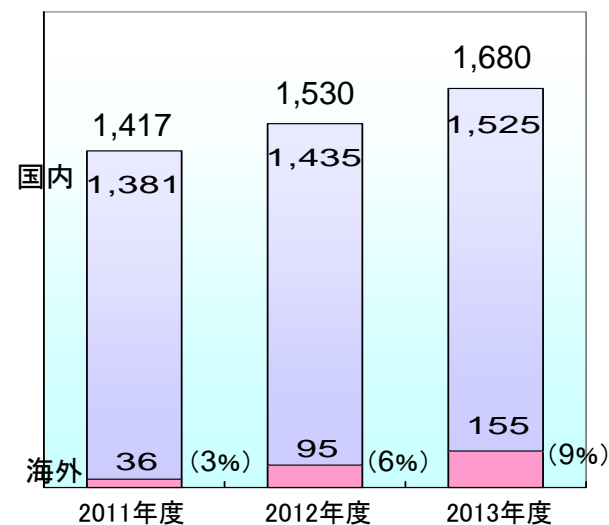


- エネルギーマネジメント新分野の売上拡大
- 海外変電事業の拡大
- 海外エコ店舗事業の拡大
- サービス事業拡大による収益改善

売上高・営業利益(億円)



国内・海外別売上高(億円)



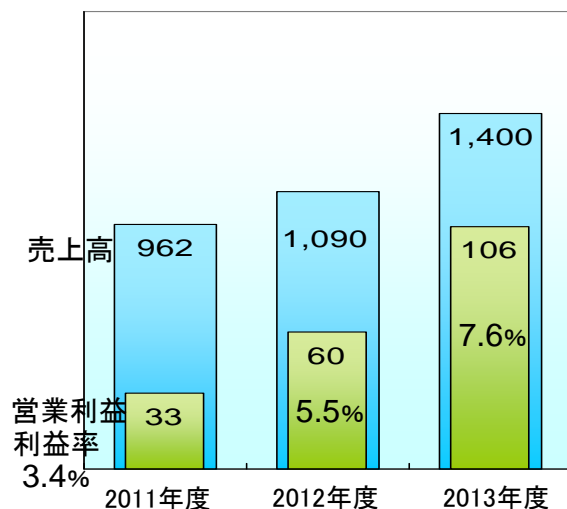
## ● ドライブ

- ・ 新型インバータ投入による海外事業拡大
- ・ EV関連事業の拡大
- ・ 鉄道車両用補助電源・ドア事業の拡大

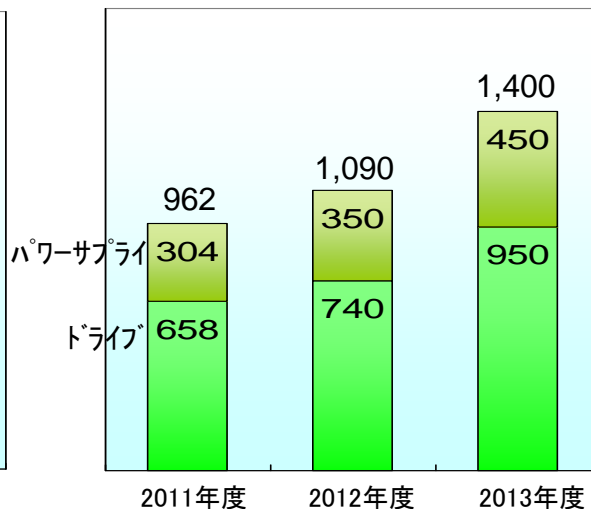
## ● パワーサプライ

- ・ UPSの海外事業拡大

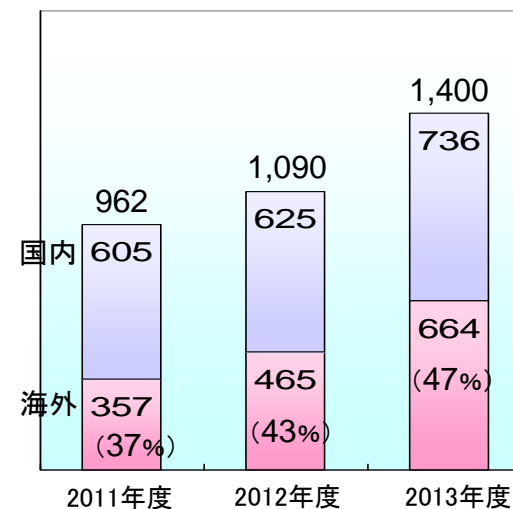
売上高・営業利益 (億円)



サブセグメント別売上高 (億円)



国内・海外別売上高 (億円)



## ● パワー半導体

IGBTモジュールのラインアップ拡充による市場領域の拡大

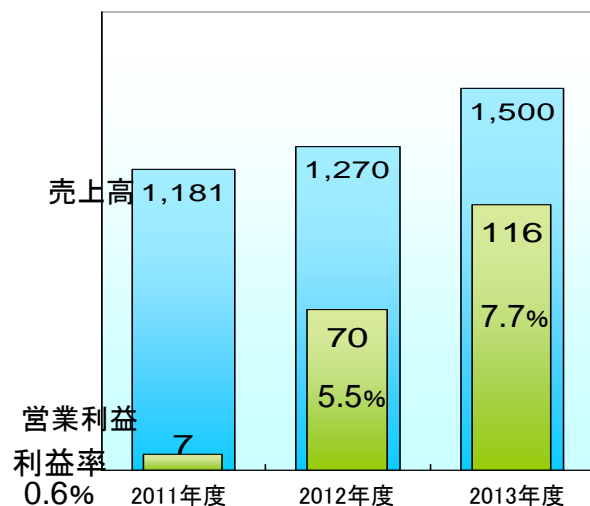
## ● 光半導体

- ・感光体：新機種を受注獲得によるシェア拡大
- ・太陽光：顧客ニーズにマッチした太陽電池セルの拡販

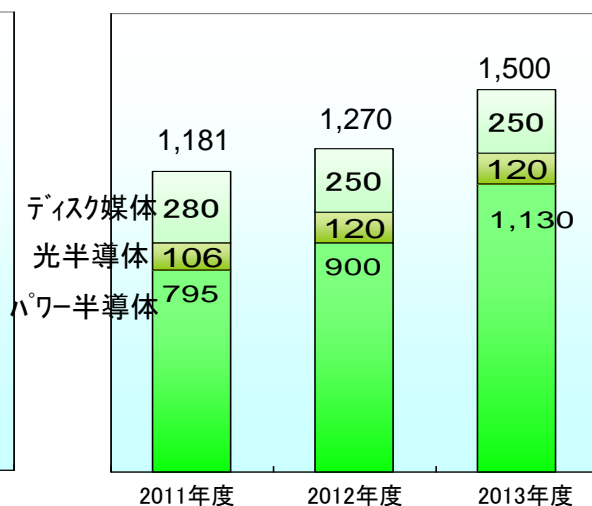
## ● ディスク媒体

顧客パートナーシップの強化による安定物量の確保

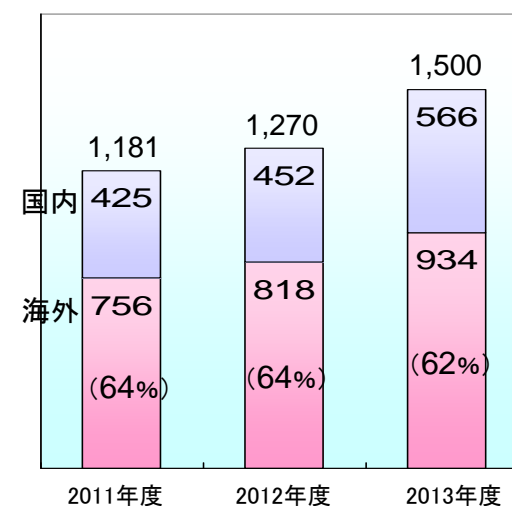
売上高・営業利益(億円)



サブセグメント別売上高(億円)

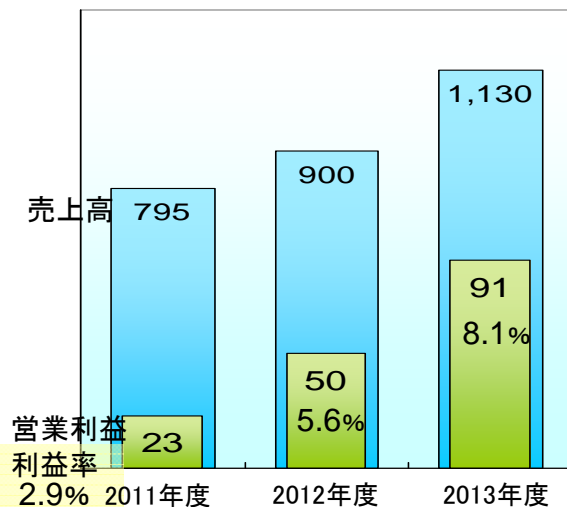


国内・海外別売上高(億円)

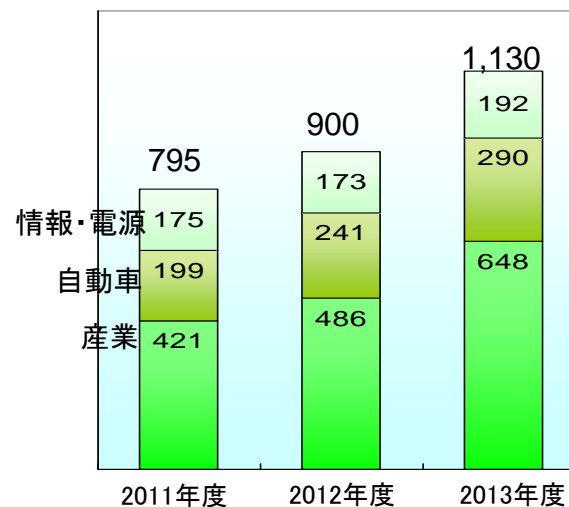


- IGBTモジュールのラインアップ拡充による売上・利益の拡大
- EV/HEV市場での日本を中心とした売上拡大
- 生産拠点の拡大(山梨、中国)
- 次世代半導体(SiC)の量産開始

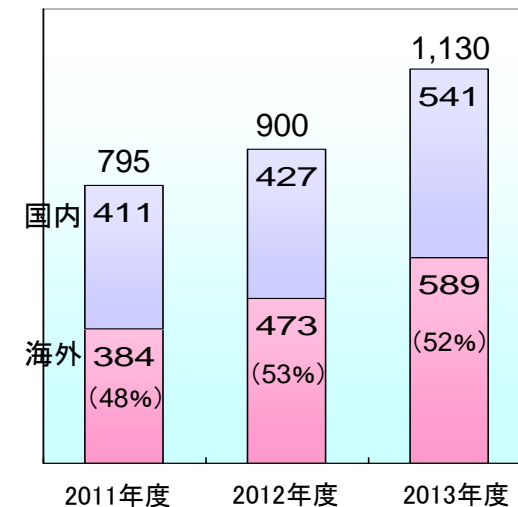
売上高・営業利益(億円)



分野別売上高(億円)

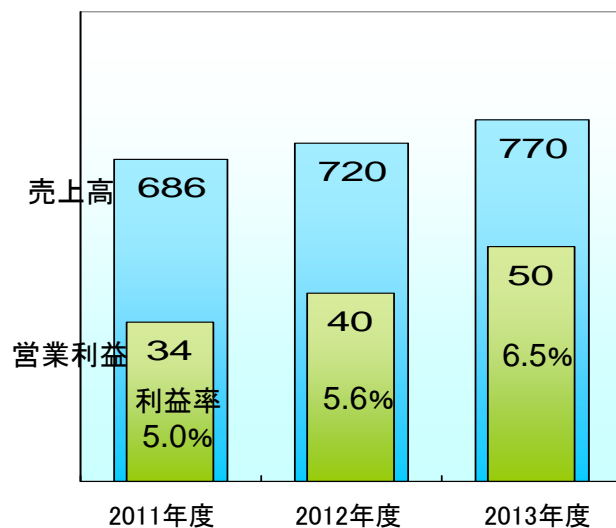


国内・海外別売上高(億円)

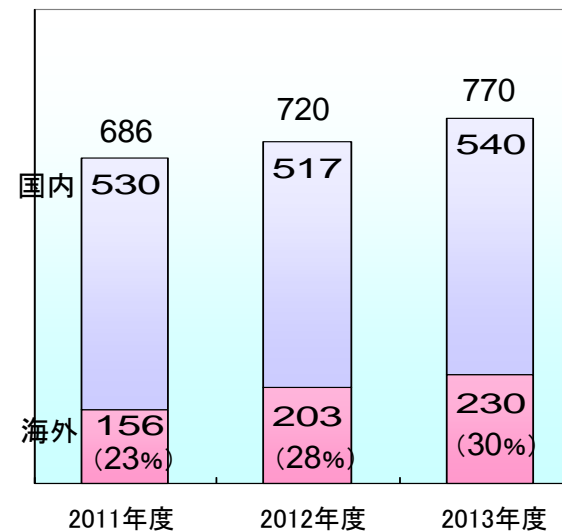


- アジア・中国市場に適合した製品ラインアップの充実
- 新エネルギー分野向け直流／高電圧対応機器の開発強化
- 特長あるシュナイダー製品を日本市場において拡販

売上高・営業利益 (億円)

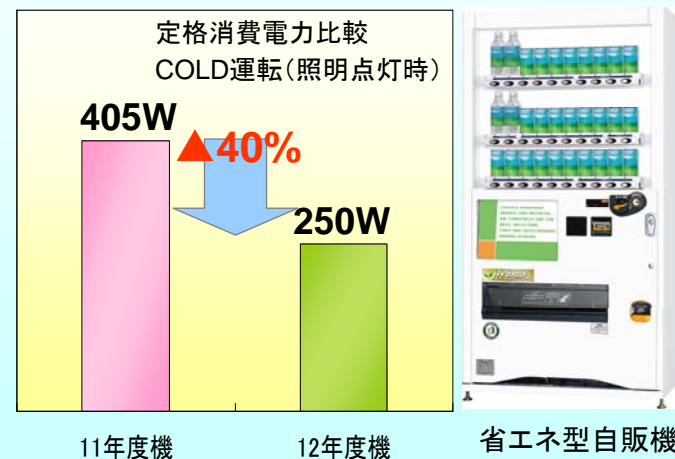


国内・海外別売上高 (億円)

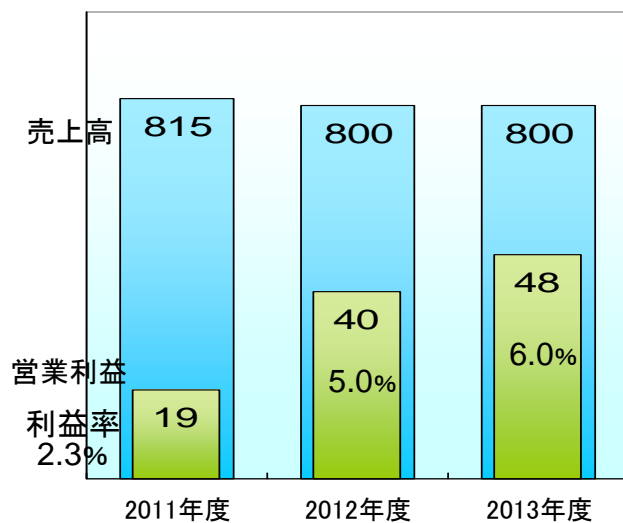


# 自販機

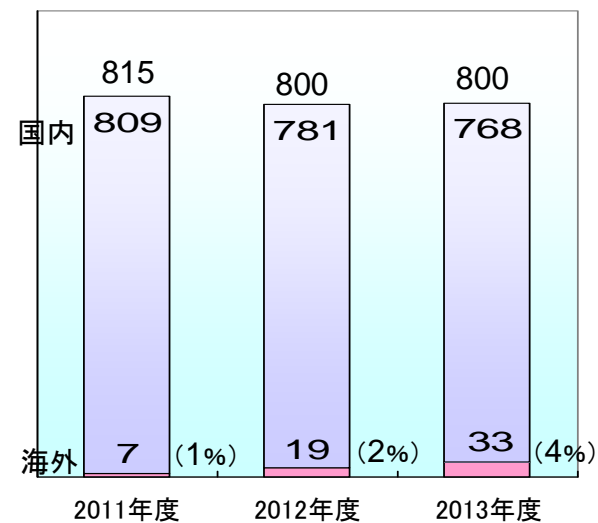
- 省エネ型自販機による置換え需要の確保
- 事業構造改革効果の抽出
- 中国市場における事業拡大



売上高・営業利益(億円)



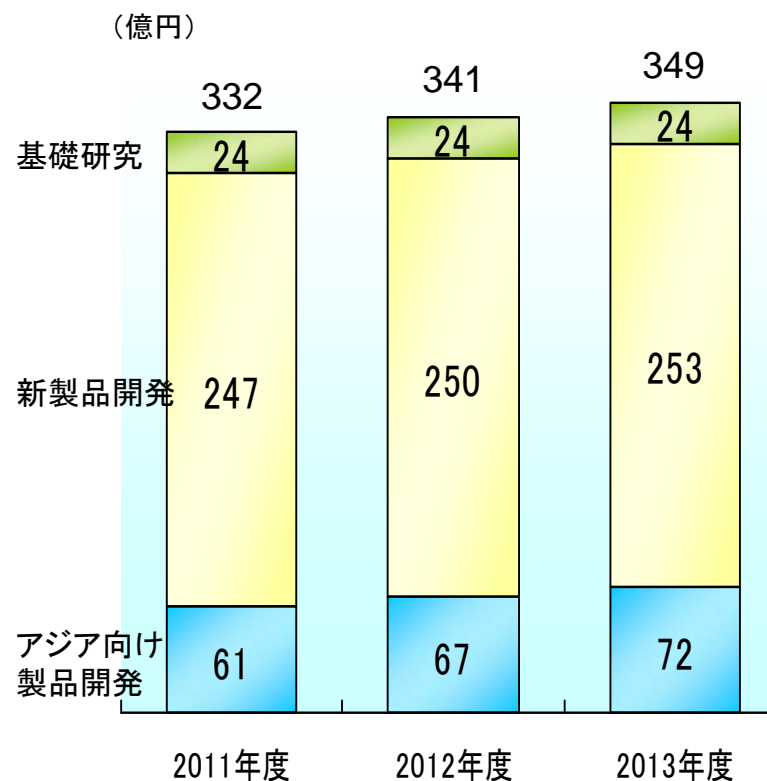
国内・海外別売上高(億円)



## 「エネルギー・環境」分野において特徴あるグローバル製品を開発

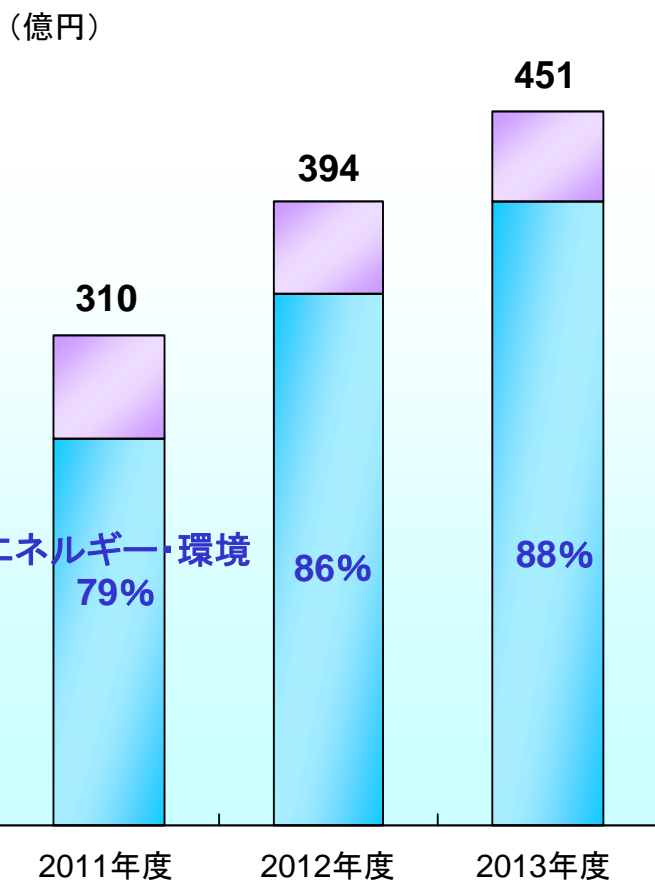
- 共通基盤技術の継続的な強化
- 新製品開発の加速
  - ・次世代パワー半導体
  - ・新デバイス適用パワーエレ装置
  - ・スマートコミュニティ向けシステム
- アジア要求品質にあわせた製品の開発強化

### 研究開発費の内訳

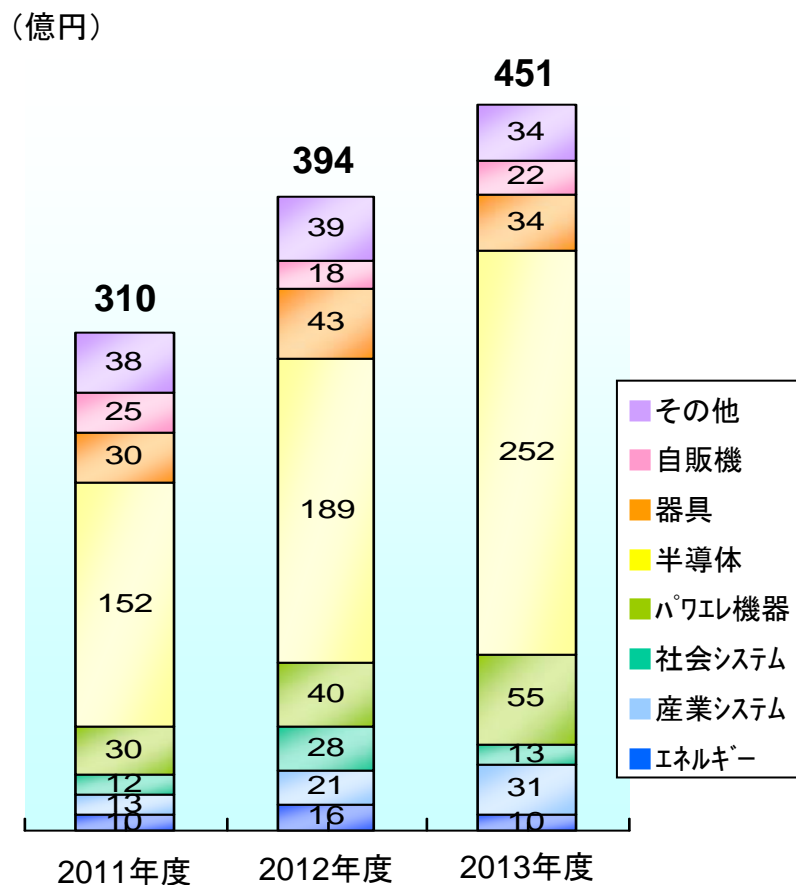


## 「エネルギー・環境」分野への積極的投資

### エネルギー・環境比率



### セグメント別設備投資額



## 生産技術力の向上による グローバル生産拠点の強化・拡大

- 生産技術部門のマザー拠点（埼玉県）化による  
生産技術力向上
- 海外（アジア・中国）生産拠点のものづくり力強化
- 集中購買とグローバル調達の実施

エネルギー・環境事業を通じて  
グローバル社会に貢献する富士電機



1. 本資料は法律に基づく監査手続の対象外であり、本説明会の時点において、法律に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。
2. 本資料および本説明会に含まれる予想値および将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性および事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
3. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社の株式の売買を勧誘するものではありません。
4. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。